

テーマ4 低炭素社会の構築

施策の柱4.1 「茅ヶ崎市地球温暖化対策実行計画」の推進

目標14

市域のCO₂排出量を令和2年度(2020年度)までに約1,492千tCO₂(平成2年度(1990年度)の80%)にします。

【目標担当課:環境政策課】

目標15

エネルギー使用量の削減に取り組んだ家庭・事業者の数を増やします。

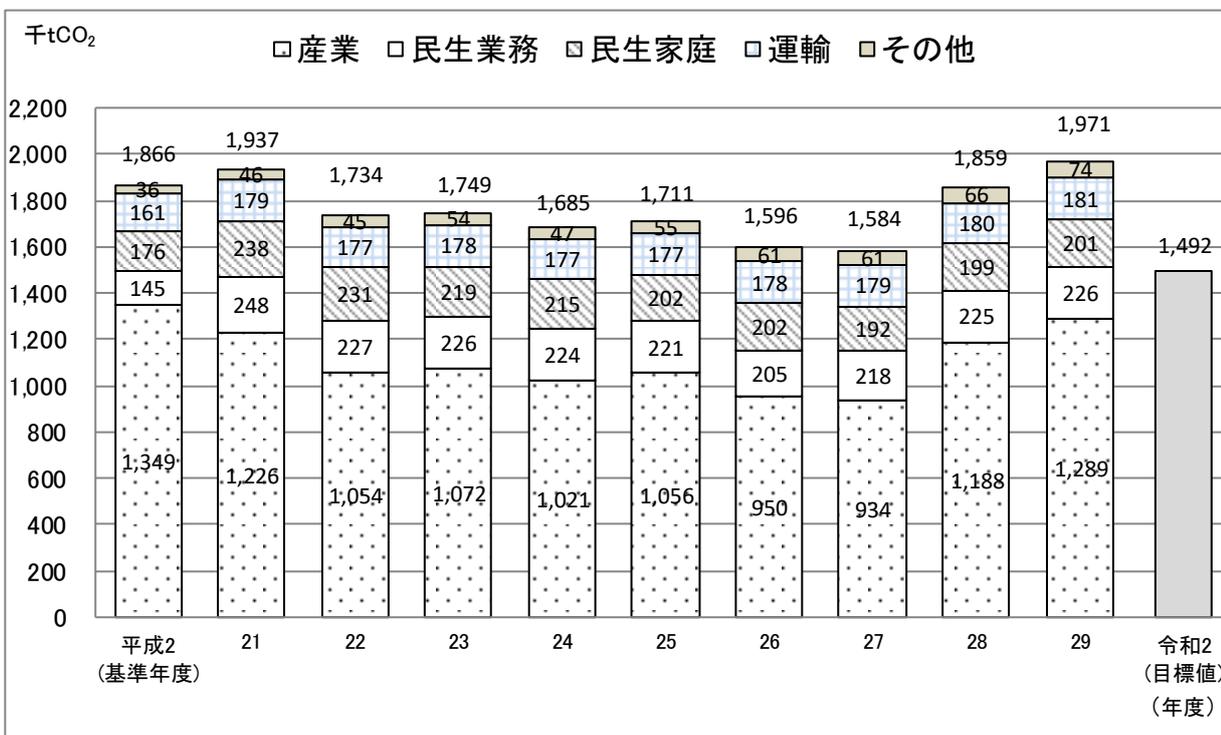
【目標担当課:環境政策課】

■目標14の進捗状況

●市域のCO₂排出量(基準値との比較)(変更後)

基準値 (平成2年度時点)	目標値 (令和2年度)	現状値 (平成29年度暫定値)
1,866千tCO ₂	1,492千tCO ₂ (80%)	1,971千tCO ₂ (106%)

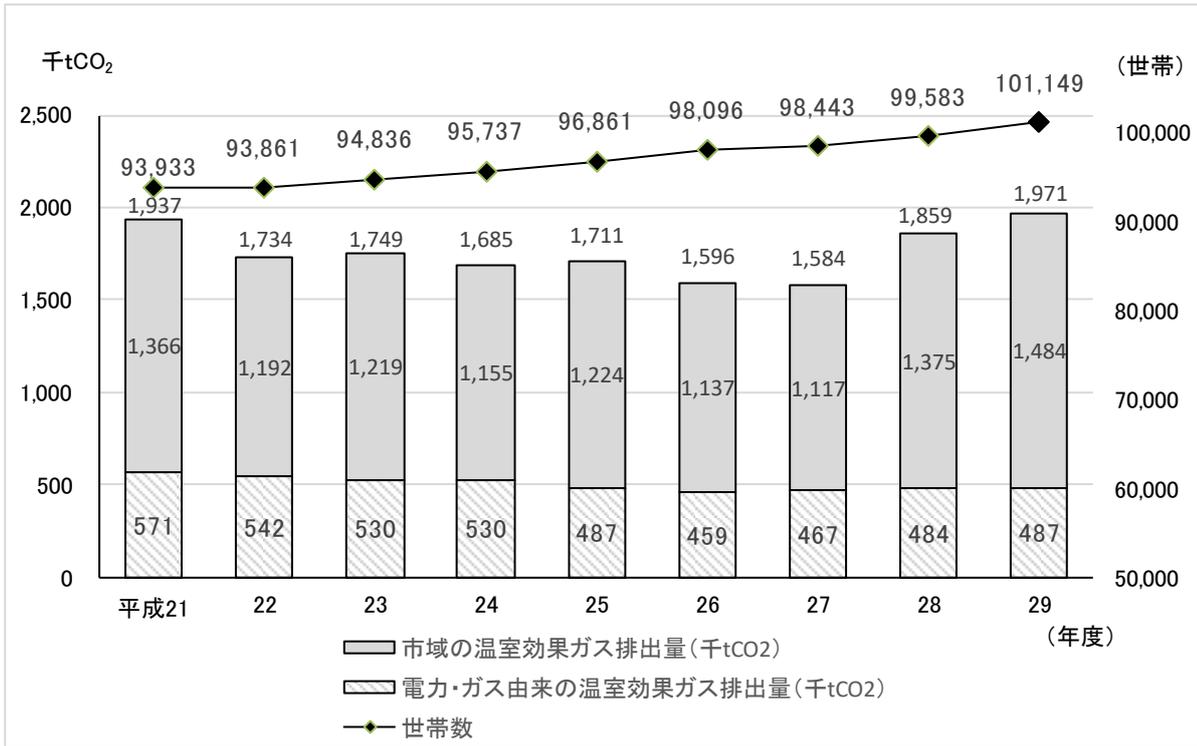
* 市域のCO₂排出量は毎年資源エネルギー庁が公表する「都道府県別エネルギー消費統計」を用い算出していますが、平成26年度の公表分から統計データの各種の精度改善措置を講じることを理由に過去に遡って2年度から25年度までのデータが修正されたことを受け、当該年度のCO₂排出量を再計算し基準値及び目標値を変更しました。
 なお、変更にあたって基準値に対する目標値の削減率(20%)は変更しておらず、地球温暖化対策実行計画におけるCO₂排出削減目標の達成に向けた各種施策の方向性についてはこれまでと変わりありません。



* 電気の排出係数は、環境省発表の平成21年度実排出係数(0.000384tCO₂/kWh)を使用し算出しています。

* 市域の二酸化炭素(CO₂)排出量は「都道府県別エネルギー消費統計」(資源エネルギー庁より公表)を基に算出しており、この統計データの最新年度が平成29年度のものとなることから、市域のCO₂排出量データの最新年度も29年度となります。

(参考)電気・都市ガス由来の温室効果ガス(※)排出量



■目標15の進捗状況

●月毎のエネルギー(電気)使用量を前年度よりも削減できた世帯数(*1)

	平成30年度				令和元年度			
	削減できた世帯数／世帯数	削減できた割合	気温(*2)		削減できた世帯数／世帯数	削減できた割合	気温(*2)	
			日平均	日最高平均			日平均	日最高平均
7月	26/50	52.0%	27.1℃	30.4℃	33/46	71.7%	24.2℃	27℃
8月	11/45	24.4%	27.7℃	30.9℃	26/47	55.3%	28℃	31.2℃
9月	10/42	23.8%	23.3℃	26.4℃	29/47	61.7%	25.5℃	29.2℃
累計	47/137	34.3%			88/140	62.8%		

*1 平成30年度、令和元年度に提出された「夏の省エネコンテスト」から、電気使用量について前年度との比較ができるデータを抽出し集計しています。

*2 気象庁ホームページより。測定値は辻堂。

■概要

- ・家庭・事業所における自主的かつ効果的な地球温暖化防止の取り組みを促すため、市のホームページ等を通じて、省エネや新エネルギー(※)の利用に関する情報を定期的に発信します。
- ・省エネナビ等の省エネツールの利用を継続的に普及推進します。
- ・市で導入した電気自動車を活用し市民意識の向上を図るとともに、事業者との連携・協力のもと、電気自動車の普及に向けたインフラ整備、燃料電池自動車(※)(水素自動車)等の普及を図ります。

■令和元年度の取り組み

(1) 家庭や事業所に対する、省エネや新エネルギーの利用に関する情報発信

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
ポータルサイト「ちがさきエコネット(※)」を活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちがさきエコネット」登録世帯の増加を目指し、夏の省エネコンテストの開催や市広報紙、タウンニュース等への記事掲載、各種イベント等でのちらしの配布、環境フェア(※)での周知により、登録世帯数は平成30年度末424世帯から534世帯となりました。 ・平成30年度に引き続き、みどりのカーテンの配布事業の受付を「ちがさきエコネット」で実施したほか、みどりのカーテン写真投稿キャンペーンを開催しました。 ・担当者ブログなど新たなコンテンツを開発し、更新回数を増加させ、アクセス数の上昇に向けて取り組みました。 	ちがさきエコネット事業 予算額【1,022千円】 決算額【1,012千円】	
省エネルギーを目的としたコンテストの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・電気の使用量が増える夏季(7～9月)の家庭の省エネルギー化を図るため、「夏の省エネコンテスト」を、冬季(2月)に「冬の省エネ1か月チャレンジ宣言！」を実施し、89世帯の参加がありました。 		
「ちがさき環境フェア」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちがさき環境フェア2019」を開催しました。市民団体や事業者によるパネル展示や燃料電池について学ぶ「おもしろ環境教室」や、生物多様性(※)についてのトークショー・ワークショップ、マイクロプラスチックについてのお話・ワークショップ等により、省エネルギーや新エネルギー、生物多様性、マイクロプラスチック問題に関する情報発信を行いました。(令和元年10月5日開催。出展・協力団体61団体、来場者約1,500名) 	環境フェア開催事業 予算額【975千円】 決算額【835千円】	環境政策課
市民と連携した講座等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・エコクッキング教室や省エネ講座の実施を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、中止しました。 	環境学習支援事業 予算額【102千円】 決算額【57千円】	
子どもを対象とした環境に関する講座等の実施			
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ちがさき」(2月15日号)の1面特集記事で、省エネルギーに関する記事を掲載しました。 ・県が取り組む「0円ソーラー」や「太陽光発電設備の共同購入事業」を掲載しました。 ・タウンニュースに省エネの取り組みに関する記事を掲載しました。 	市民・事業者・市との環境活動連携支援事業 予算額【100千円】 決算額【45千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
2市1町広域連携による啓発活動	・市民への啓発活動の一環として、湘南エコウェブ(※)でエコバッグを作成し、環境フェアで「ちがさきエコネット」を体験していただいた方へ配布しました。	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【113千円】 決算額【84千円】	環境政策課
環境バスツアーの実施(2市1町広域連携事業)	・親子環境バスツアーで「㈱JERA川崎火力発電所」「かわさきエコ暮らし未来館」及び「ANA羽田機体工場」を、秋の環境バスツアーで「㈱鈴廣蒲鉾本店」「㈱タツノ横浜工場」を見学し、発電の仕組みや再生可能エネルギーの取り組みなどを学びました。(親子環境バスツアー参加者41名(茅ヶ崎市参加者10名)、秋の環境バスツアー参加者37名(茅ヶ崎市参加者12名))。		
みどりの保全セミナーの実施(2市1町広域連携事業)	・日本大学生物資源科学部に協力いただき、小学生を対象とし、みどりの保全セミナーを行いました。地球温暖化防止に関する森林の役割や森林と生物の暮らしに関係について学び、演習林で森林環境や生物を観察しました。(参加者54名(茅ヶ崎市参加者14名))。		
地球温暖化、省エネルギーに関するアンケート調査	・無作為抽出した市民2,000名を対象に実施し、結果をホームページにて公表する予定です。回答数は687件、回収率は34.3%でした。 ・無作為抽出した事業者1,000社を対象に実施し、結果をホームページにて公表する予定です。回答数は304件、回収率は30.4%でした。		

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 省エネツール利用の継続的な普及推進

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
省エネナビ、エコワットの貸出	・広報紙、ホームページ、タウンニュース及び展示会にて利用の周知活動を行いました。 ・省エネナビの貸出件数は2件、エコワットの貸出件数は8件でした。	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【113千円】 決算額【84千円】	環境政策課
緑のカーテン用苗の配布	・市民225世帯に配布しました(「ちがさきエコネット」での申込160世帯、1世帯3株。電話・FAXでの申込65世帯、1世帯2株)。 ・苗配布後に、緑のカーテンに取り組んだ世帯を対象として、「ちがさきエコネット」上で「緑のカーテン写真投稿キャンペーン」を実施し、10世帯から写真の投稿がありました。		
環境家計簿の提供	・「ちがさきエコネット」では、昨年度までと同様、エコファミリー会員向けに「環境家計簿」ページを公表しています。「環境家計簿」では、電気、ガス、水道、その他燃料などの使用量を入力することで、家庭のCO ₂ 排出量をグラフにして見える化し、省エネ意欲の向上を図りました。	ちがさきエコネット事業 予算額【1,022千円】 決算額【1,011千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(3) 電気自動車等を活用した市民意識の向上

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和元年度事業費*	担当課
電気自動車等展示会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 環境フェアにて、民間事業者に御協力いただき、電気自動車、燃料電池自動車、ハイブリッド自動車等の次世代自動車の展示を行いました。また、屋外会場の電力の一部を電気自動車のバッテリーから供給する様子の展示も行いました。 3月に開催予定であった「柳島スポーツ公園やなスポフェス★2020」に、市内の㈱オーテックジャパンの協力を得ながら、電気自動車の展示や啓発を行う予定で準備しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止としました。 	環境フェア開催事業 予算額【975千円】 決算額【835千円】	環境政策課
電気自動車用急速充電器の活用による普及支援	<ul style="list-style-type: none"> 茅ヶ崎第1・第2駐車場に設置している急速充電器を無料開放することで、電気自動車の普及を支援しています。 	省エネルギー及び地球温暖化対策に対する普及啓発事業 予算額【113千円】 決算額【84千円】	

* 事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止に向け、環境ポータルサイト「ちがさきエコネット」の運用や環境フェアの開催、エネルギー関連施設等を見学する「環境バスツアー」など、様々な手法で、啓発活動を実施しました。 「夏の省エネコンテスト」及び「冬の省エネチャレンジ宣言」では、延べ89世帯に御協力いただき、約1,900kgCO₂を削減することができました。 	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題	
<ul style="list-style-type: none"> 省エネ行動を誘発するため、啓発活動の内容を工夫しながら実施することが必要です。また、これまでは温暖化防止の啓発事業は温室効果ガス(※)を削減する緩和策が中心でしたが、変わりゆく気候に適応するための適応策にも力を入れて取り組むことが必要です。 	



「緑のカーテン写真投稿キャンペーン」参加写真



ちがさきエコネットで提供している「環境家計簿」(スマホ版)



「広報ちがさき」(2月15日号) 特集記事



「冬の省エネ1か月チャレンジ宣言！」ちらし

■概要

・家庭、事業所におけるトップランナー機器、省エネ機器、新エネルギー(※)利用設備、電気自動車等の導入・利用に対する補助金給付等を実施し、省エネルギーの推進及び新エネルギーの導入拡大を図ります。

■令和元年度の取り組み

(1) 家庭・事業所における省エネ機器や新エネルギー利用設備、電気自動車の導入等に対する補助事業

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和元年度事業費*	担当課
商店街街灯LED(※)化に対する補助事業	・1商店会の街路灯23基のLED化の事業費に対し、2分の1の補助を行いました。	商店街振興支援事業 予算額【19,391千円】 決算額【13,290千円】	産業振興課
太陽光発電設備普及啓発基金を活用した団体・事業者向け太陽光発電設備設置補助事業	・基金を活用し、太陽光の普及啓発を図る事業の一部を補助する制度の運用を開始しました。令和元年度の申請はありませんでした。 ・活用の促進に向け、募集要項を理解いただきやすい冊子にリニューアルするとともに、ポスターやチラシの作成や配布、環境フェア(※)での周知活動を実施しました。	太陽光発電設備普及啓発事業 予算額【2,000千円】 決算額【0千円】	環境政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) 太陽光発電に関する新たな事業の展開

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和元年度事業費*	担当課
太陽光発電クレジット制度の周知と参加者募集	・茅ヶ崎おひさまクレジット事業(※)をNPO法人ちがさき自然エネルギーネットワークと協力して実施しました。 ・令和元年12月開催の湘南国際マラソンでランナーが着替えを入れるエコ袋のカーボン・オフセット(※)に5tCO ₂ を活用していただきました。(活用事業者名: ㈱湘南貿易) ・㈱オーテックジャパンと、令和2年度の売却に向け調整を進めました。	太陽光発電クレジット事業 予算額【72千円】 決算額【72千円】	環境政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備普及啓発基金を活用するための補助事業を開始しました。 ・NPO法人と連携し取り組んだ「茅ヶ崎おひさまクレジット事業」では、保有しているクレジットを㈱湘南貿易に売却し、活用していただきました。 ・市内商店会(全16団体)におけるLED化率が68.7%へと向上しました。(11団体が導入済) 	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)</p>
課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車の導入を推進するため、自動車としての機能だけでなく災害時には蓄電池として活用できることのPRを行っていく必要があります。 ・国のJ-クレジット事業に参加している茅ヶ崎おひさまクレジットは、プロジェクトの認証対象期間が令和2年度で終了するため、終了後、太陽光発電を推進するための啓発が課題となります。 ・商店街の街路灯LED化に対し事業費の1/2補助支援について、事業費の確保ができない団体に対する支援が課題となります。 	

■概要

・行政活動に伴うエネルギー消費や温室効果ガス(※)の排出削減に向け、高効率照明器具や電気自動車の導入、夏季における緑のカーテン(※)実施、新たな施設の建設における省エネ機器等の設置など、新技術を積極的に導入します。

■令和元年度の取り組み

(1) 行政活動に伴うエネルギー消費や温室効果ガスの排出削減に向けた新技術等の導入

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
防犯灯事業におけるLED(※)灯具の設置及び維持管理	・平成28年度にESCO事業(※)を活用して市が管理する全ての防犯灯のLED化しました。令和元年度は、同事業により、各自治会からの要望による新設(89灯)を行うとともに、LED化された防犯灯の維持管理を継続しました。	LED防犯灯の設置及び維持管理による防犯対策事業 予算額【67,242千円】 決算額【64,123千円】	安全対策課
ごみ焼却炉から発生する熱の有効利用	・ごみ焼却施設で発生した蒸気を利用し、最大3,000kW発電することでセンターの電力を賅うとともに、余剰電力は売電しました。令和元年度は20,950,815kWh発電し、そのうち売電した電力は12,840,065kWh、売電額は152,377,316円(1か月約1,200万円)でした。発生した熱エネルギーは、環境事業センター内の給湯や冷暖房のほか、茅ヶ崎市温水プールでも利用しています。	ごみ焼却処理施設 余熱利用による売電 (行革重点推進事業名) 予算額【126,777千円】 決算額【152,377千円】	環境事業センター
特定規模電気事業者(PPS)の活用促進	・茅ヶ崎市では電力調達に関する入札に際しては、温室効果ガス排出削減の観点から、「茅ヶ崎市電力の調達に係る環境配慮実施要綱」に基づく環境評価基準を満たした電気事業者のみが参加できる裾切り方式を採用しています。令和元年度の入札はありませんでした。 ・指定管理者が管理する地域集会施設(5施設)において、特定規模電気事業者(エネサーブ(株))と電力調達契約を締結しました。	環境マネジメントシステム推進事業 予算額【487千円】 決算額【485千円】	環境政策課
公共施設への省エネ機器等の導入促進	・中央公園において、太陽光発電設備(5.6kW)を導入しました。 ・ハイブリッド自動車1台を導入しました。 ・市内公共施設(11施設)において、274灯のLED照明を導入しました。 ・松林ケアセンターにおいてデマンドコントローラーを導入しました。 ・市内公共施設(鶴嶺公民館、柳島記念館、市民活動サポートセンター)において、緑のカーテンを実施しました。	小学校施設整備事業 予算額【407,737千円】 決算額【120,902千円】	教育施設課
	・市内小学校(2校)において、166台のLED照明を導入しました。 ・市内小学校(18校)において、高効率空調室外機を導入しました。	中学校施設整備事業 予算額【227,272千円】 決算額【135,119千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・災害等による停電時に、発電した電力を供給できるようにするため、防災拠点となる中央公園の管理棟に太陽光発電設備(5.6kW)を設置しました。 ・小・中学校をはじめとした公共施設においてLED照明や高効率空調機器を導入し、施設の省エネルギー化を図りました。 	B
課題	A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
<ul style="list-style-type: none"> ・設備を設置・更新する公共施設については、コストを勘案した省エネ設備の導入を推進することが必要です。 	

中央公園管理棟



太陽光発電設備



外観

施策の柱4.2 交通行政における温室効果ガス（※）の排出削減

目標16

市民1人あたりの年間公共交通利用回数を令和2年度（2020年度）までに455.5回にします。

【目標担当課：都市政策課】

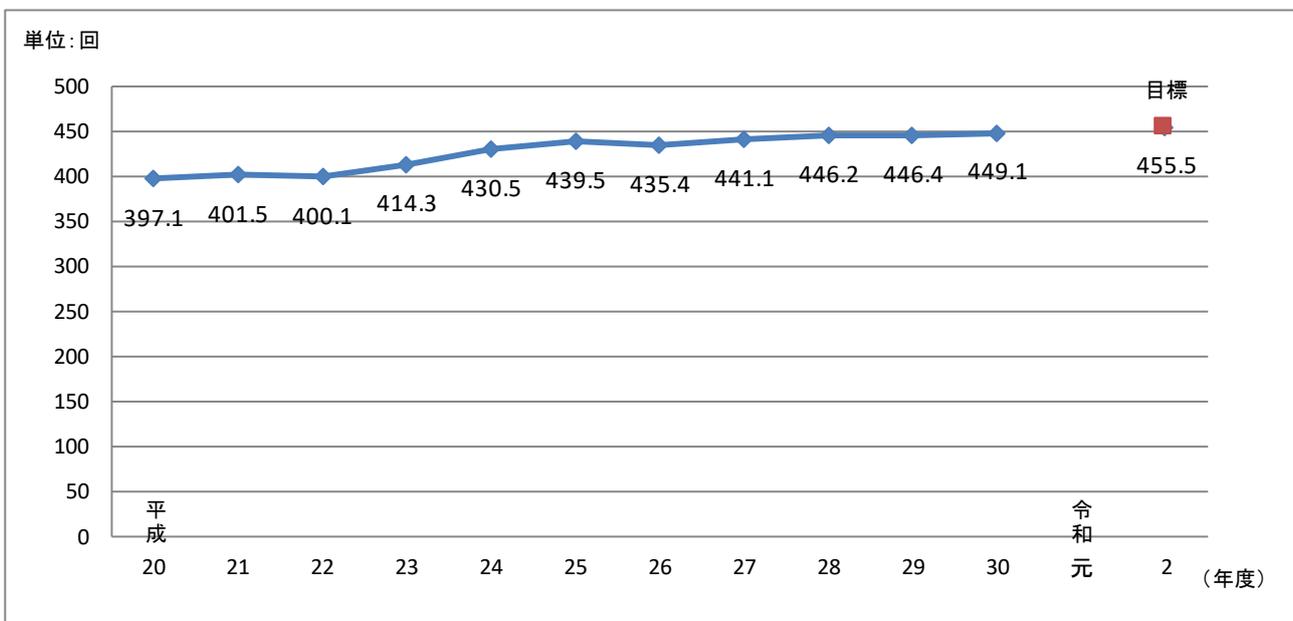
* 市民1人あたりの年間公共交通利用回数：鉄道、路線バス、コミュニティバスの利用者数をその年度の人口で割ることにより算出します。

* 鉄道利用者数はJRの各駅（茅ヶ崎駅、北茅ヶ崎駅、香川駅、辻堂駅）の乗降者数であり、本市以外からの利用者も含んでいます。

■目標16の進捗状況

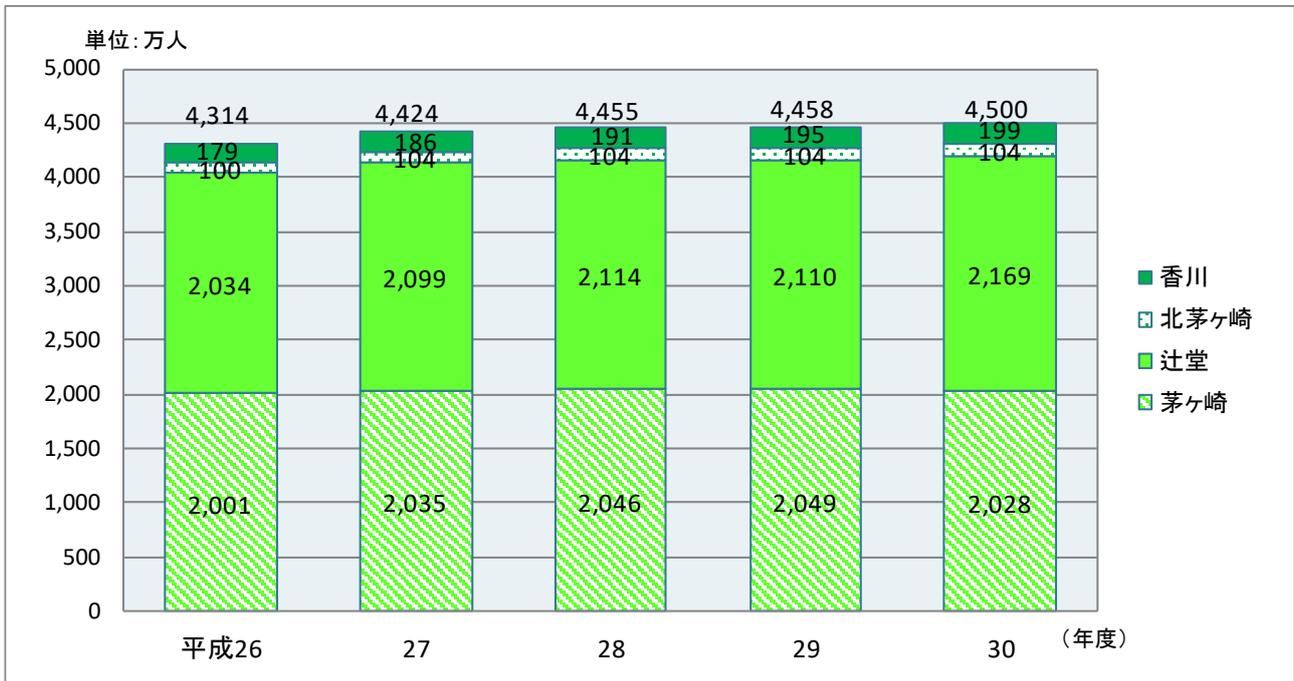
●市民1人あたりの年間公共交通利用回数

項目	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
回数	439.5回	435.4回	441.1回	446.2回	446.4回	449.1回



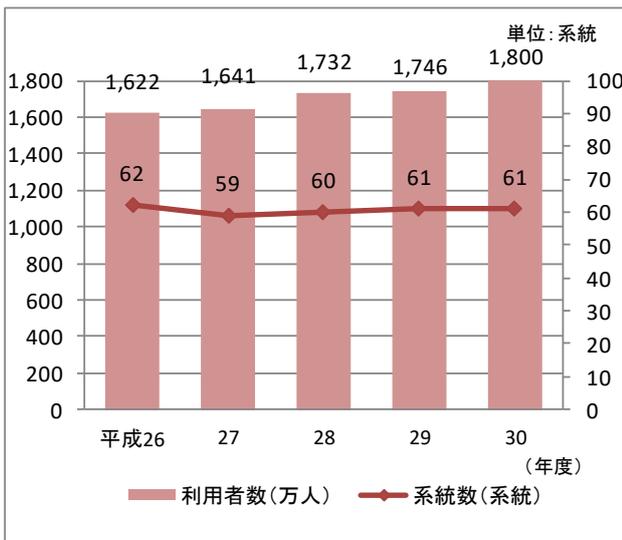
(参考) 鉄道の利用状況(平成30年度)

茅ヶ崎駅	辻堂駅	北茅ヶ崎駅	香川駅
2,028万人	2,169万人	104万人	199万人



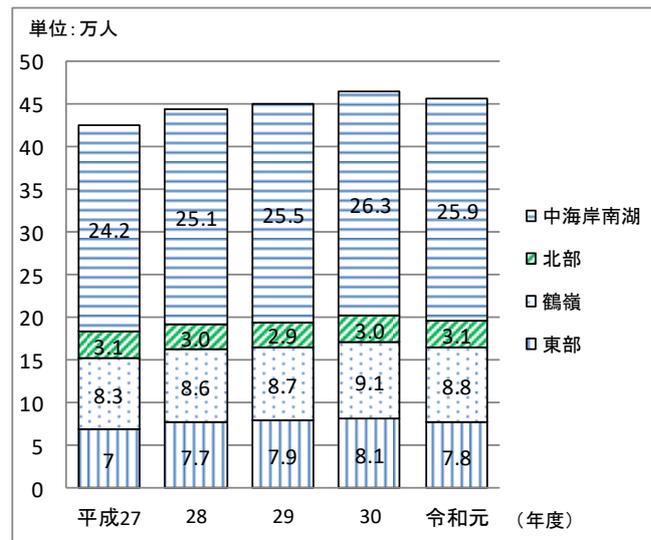
(参考) 路線バスの利用状況(平成30年度)

利用人数	1,800万人
路線数	61系統



(参考) えぼし号の利用状況(令和元年度)

路線	東部	鶴嶺	北部	中海岸南湖
利用者数	7.8万人	8.8万人	3.1万人	25.9万人



■概要

・自家用車の利用を抑制し交通に伴う温室効果ガス(※)排出量を削減するため、乗合交通を利用しやすい環境づくりに努め、快適な公共交通機関ネットワークを整備します。

■令和元年度の取り組み

(1) 乗合交通を利用しやすい環境づくりに向けた公共交通機関ネットワークの整備

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
ノンステップバスの導入(事業者に対する要望)	・移動等円滑化の促進に関する基本方針の基準を満たすため、ノンステップバスを積極的に導入するように要望しました。	乗合交通整備計画 推進事業 予算額【1,560千円】 決算額【1,434千円】	都市政策課
地域公共交通の利用促進、運行改善(ルート、本数、バス停環境等)	・湘南地区の交通空白地区に対して、地域の方々と共に道路運送法の許可の様態を要しない運送法の実施を協議し、運行を開始しました。 ・緑が浜地区の住民から、江ノ島電鉄が運行しているバスの停留所新設の要望を受け、同社と協議し、新設する方針となりました。(令和2年6月頃供用開始予定) ・停留所の修繕を行いました。		
サイクルアンドバスライド(※)の整備及び適正管理	・既存施設の適正管理(見回り、放置自転車撤去等)を行いました。	ちがさき自転車プラン 推進事業 予算額【11,435千円】 決算額【3,617千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・「茅ヶ崎市総合交通プラン」を踏まえ、コミュニティバスのコース変更や乗合所の新設、停留所の修繕を行ったほか、住民要望を受け事業者と協議しバス停新設につなげるなど、乗合交通を利用しやすい環境づくりを行いました。 ・公共交通空白地区である湘南地区に対するアプローチとして、地域住民主体による新たな交通手段創出への支援を行いました。 	B
課題	A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
<ul style="list-style-type: none"> ・急速に進む高齢化に対応するため、「将来利用する可能性がある高齢者等への乗り方案内」等、公共交通の利用環境をさらに整えていく必要があります。 	



鶴嶺小学校前のサイクルアンドバスライド

■概要

- ・歩行者の安全と自転車利用の利便性・安全性向上を図り、自家用車の使用抑制を図ります。
- ・レンタサイクル(※)事業について、今後の事業継続実施に向けた検討を行っていきます。
- ・サイクルアンドバスライド(※)について、施設の適正な維持管理を行い利便性の向上を図ります。

■令和元年度の取り組み

(1) 歩行者の安全、自転車利用の利便性・安全性向上

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名 及び令和元年度事業費*	担当課
自転車利用ルールの周知	・自転車ルールの遵守やマナーアップに向けた取り組みとして、小学校、中学校、高校、高齢者、事業者等における交通安全教室や、各高校での登校時の呼びかけなどの各種啓発活動を実施しました。	交通安全教育及び啓発等事業 予算額【9,532千円】 決算額【8,635千円】	安全対策課
民設自転車駐車場に対する補助金交付の情報提供と開設促進	・ホームページにて民営自転車駐車場の補助制度を掲載しています。また、自転車駐車場の開設相談に來た民間業者へ、茅ヶ崎駅南口に自転車駐車場の需要が大きいこと等を情報提供し、開設の促進を行いました。	自転車駐車場管理運営及び施設整備事業 予算額【63,219千円】 決算額【63,191千円】	
公設自転車駐車場設置に向けた検討	・民間自転車駐車場の閉鎖や新設といった台数の増減を注視しました。		
既存の公設自転車駐車場の維持管理と利便性向上	・本宿町自転車駐車場に防犯カメラを設置しました。 ・ツインウェイ北自転車駐車場の天井埋め込み型の換気扇を交換、事務所屋根の修理を実施しました。 ・新栄町第二自転車駐車場のワイヤー交換修理を実施しました。 ・消防設備として誘導灯(新栄町第一、新栄町第二)、非常放送設備(幸町)の修理を実施しました。 ・新栄町第二自転車駐車場の3階の上段ラックを取り外し35台分の平置きスペースを確保。タイヤが太い、ハンドル位置が高い、チャイルドシート付の自転車が駐車しやすいようにしました。 ・その他、点検及び修繕を随時行い、維持管理と利便性向上に努めています。		
視覚障害者誘導ブロック設置工事	・視覚障害者誘導ブロック設置工事を16箇所実施しました。	道路舗装修繕事業 予算額【3,570千円】 決算額【3,726千円】	道路管理課
歩車道段差解消工事	・歩車道段差解消工事を16箇所実施しました。		
歩道設置工事(市道0110号線)	・歩道設置を行うため、用地買収(A=235.51㎡)を実施しました。	市道0110号線歩道整備事業 予算額【14,273千円】 決算額【10,163千円】	道路建設課
道路改良工事(香川甘沼線)	・令和2年度に買収予定している箇所の補償費算定業務委託を実施しました。	香川甘沼線道路改良事業 予算額【2,641千円】 決算額【2,165千円】	
道路改良工事(下寺尾芹沢線)	・道路改良工事として延長L=97.7mの整備を令和2年9月の完成を目指し進めました。	下寺尾芹沢線道路改良事業 予算額【27,221千円】 決算額【16,446千円】	

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和元年度事業費*	担当課
自転車走行空間の整備	・細街路の交差点における自転車走行空間整備社会実験を実施しました。	ちがさき自転車プラン推進事業 予算額【11,435千円】 決算額【3,618千円】	都市政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(2) レンタサイクル事業の実施と新たな取り組みの検討

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和元年度事業費*	担当課
関係団体との協働によるシェアサイクル事業の検討・実施	・第2次ちがさき自転車プランに基づき、シェアサイクル事業の実施を行いました。	ちがさき自転車プラン推進事業 予算額【11,435千円】 決算額【3,618千円】	都市政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

(3) サイクルアンドバスライド事業における施設の適正な維持管理と利便性向上

具体的な取り組み	実施内容	第4次実施計画事業名及び令和元年度事業費*	担当課
適正な維持管理と地域の需要に応じた設置検討	・既存施設の適正管理(見回り、放置自転車撤去等)を行いました。	ちがさき自転車プラン推進事業 予算額【11,435千円】 決算額【3,618千円】	都市政策課

*事業費は該当する第4次実施計画事業全体の事業費を示すもので「具体的な取り組み内容」個別の事業費を示すものではありません。

■ 成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用の安全性を確保するため、交通安全教室等の自転車利用ルールの周知を行いました。 ・歩車道段差解消工事や視覚障害者誘導ブロック設置工事を実施し、歩行者の安全性確保に努めました。 	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車交通事故多発地域に指定されていることから、自転車利用の促進に併せ、引き続き自転車ルールの遵守・マナーアップに向け、対象者毎に効果的な取り組みをさらに強化する必要があります。 	

細街路の交差点における自転車走行空間整備社会実験
(人感センサーライトを交差点に設置)

